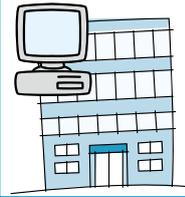


# 主な事業

## 総務・市民



## 国際交流事業

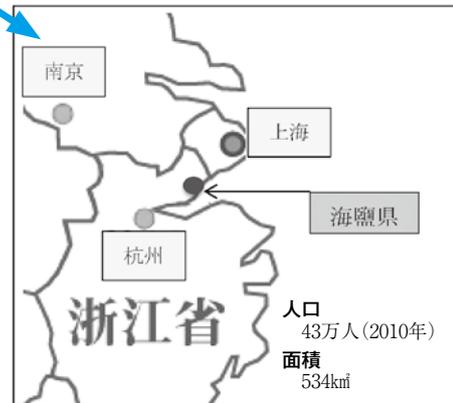
113万円

海外都市との交流により、本市の魅力と課題を



再発見し、国際化時代に対応したグローバルな人材の育成を図る。具体的には中国浙江省海鹽県との交流事業で、今年度は市長をはじめ学校関係者ら10名の表敬訪問。子どもたちの交流事業のための事前調査。

再発見し、国際化時代に対応したグローバルな人材の育成を図る。具体的には中国浙江省海鹽県との交流事業で、今年度は市長をはじめ学校関係者ら10名の表敬訪問。子どもたちの交流事業のための事前調査。



## コミュニケーション

1,500万円

コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備に対して、一般財団法人自治総合センターが宝くじ社会貢献事業として実施する。

補正額は小城町<sup>でぶ</sup>出身自治会コミュニティセンター助成事業として上限の1,500万円を交付する。

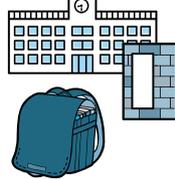
分野で連携事業を継続し、今年度は千葉市への派遣費の一部を助成する。

## 都市間交流事業

46万円

都市との交流活動を促進することにより、本市の魅力と課題を再発見する機会とする。具体的には鎌倉時代に全国に所領を持った有力な御家人「千葉氏」にゆかりのある11市町による千葉氏サミット広域連携会議を設置し、千葉氏に関する知名度向上・歴史・文化・経済・観光・防災などの

## 教育・文化・福祉



## 地域密着型サービス等整備助成事業

7,517万円

地域における医療・介

護サービスの充実を図るため、地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律第4条に規定する都道府県計画に定める事業者に対し施設整備の補助を行う。

対象施設は、小規模多機能型居宅介護事業所の1施設、及び認知症高齢者グループホーム1施設で芦刈町芦溝地内に建設予定。各施設とも定員9名で、佐賀県地域医療介護総合確保基金からの全額負担。社会福祉法人清水福祉会が平成30年3月1日に事業を開始の予定。

## 体育施設管理費

3,531万円

三日月ふれあい公園テニスコート2面の人工芝が経年劣化のため、全面張替の改修を行う。

既存の人工芝とアスファルトの撤去、整地、舗装、砂入り人工芝張り工事を行う。

## 胃がん検診事業

266万円

胃がんの早期発見・早期治療に結びつけるため、現在40歳以上を対象とし各保健福祉センターにおいて集団での胃透視を実施、新たに胃内視鏡検査を対策型検診とし

## 一般コミュニティ助成事業

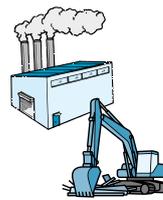
210万円

小城町二瀬川地区の鉦<sup>かね</sup>浮立<sup>ぶら</sup>に必要な備品の整備に対して交付し、地域コミュニティ活動の充実・強化を図る。

一般財団法人自治総合センターが宝くじ社会貢献事業として選定し補助金を交付。

て、医療機関での個別検診の実施。

産業・建設



ため池耐震性調査事業

2,200万円

平成23年に発生した東日本大震災で、多くのため池が被災し、ため池の決壊により尊い人命が失われ、人家・公共施設・農地も被災した。それを受けて全国的なため池の

一斉点検が実施された。

点検の結果、市内32のため池のうち決壊した場合に、人家や公共施設に影響を与えるおそれのある9か所が、「防災重点ため池」となった。平成31年度までに耐震性詳細調査とハザードマップの作成を行う。

農業基盤整備促進事業

6,415万円



▶ため池耐震性調査予定の寺浦第3ため池

農業水利施設は、今後、耐用年数を迎えることから適切な保全管理が求められる。このため地域の实情に即して農業用の排水路を整備する。平成29年か

◀農業基盤整備促進事業で整備予定の堀江地区水路



ら33年まで大雨時の排水不良による浸水被害を抑制するため、県営地盤沈下対策事業と足並みを揃え、三日月町の堀江、道辺、島溝の水路を整備する。

道路新設改良事業

847万円

三日月町杉町・東分線道路改良事業で、交差点

部信号機の設置（押しボタン式半感応式）に伴い、現況の車道有効幅員は4mと狭小なことから、離合可能な6・5mに拡幅し車輛の安全を確保する。

耐震診断補助事業

225万円

地震の被害を未然に防ぎ軽減するため、耐震診断の助成制度を創設。昭和56年5月31日以前に着工された木造の専用住宅の所有者等が実施する耐震診断の費用を補助。

都市計画運営事業

678万円

自然環境と都市的環境の調和を図りつつ、市の一体的な発展に向け、計画的な土地利用と効率的

な都市づくりを推進するため、都市計画の基礎調査を行う。

牛津拠点地区市街地活性化推進事業

2,546万円

牛津駅周辺の拠点地区を対象に、牛津駅、赤れんが館及び牛津公民館をまちの駅の核として、市民協働による具体的なまちづくりの方向性を示した「牛津拠点地区市街地活性化基本構想」に基づき、産学官民が一体となって牛津地区の市街地活性化を推進するため、  
 ①事業推進体制の構築と運営の支援  
 ②まちの駅ネットワークの構築  
 ③都市再生整備計画策定などを行う。